

## 平成30年度 事業報告書

公益社団法人 葛城市シルバー人材センター

### 概要

経常収益における請負・委任の受託事業収益は、ここ数年、連続して増加していましたが、平成30年度は6年ぶりに減少に転じました。主な要因として、シルバー人材センター事業において重要な「適正就業」実施のため、警備業法に抵触する恐れのある市内5つの小学校の下校指導業務契約の更新を取り止めざるを得なかったことが挙げられます。その他、会員の人数減少、高齢化及び健康状態の不調、並びに会員の希望職種と剪定、草刈り作業など受注が多く見込まれる職種とのアンマッチにより、人員が確保できず受注不成立があったこともその一因でした。一方、労働者派遣事業では業務拡大制度を新たな就業機会の提供に結びつけることができませんでしたが、既存のお客様の要望にはしっかりと対応でき、また会員さんの頑張りで厚い信頼を得たことが、就業延人員、契約金額の増加につながりました。

会員数については、前年度に比べ約8%の会員数が減少しています。退会した会員の約7割が本人病気、加齢、家庭の事情（介護、孫の面倒見等）による理由で、退会に際し「会員を続けたくてもどうにもならない」というものでした。入会促進として、平成30年度新たに、高齢者世帯が多い地区を対象に、時機を考慮しダイレクトメール（はがき）を発送し会員募集を行いました。例年の一人一会員（ロコミ）入会活動、募集チラシの戸別配布、市広報誌への募集記事掲載、入会希望者への説明・相談、ホームページによる事業周知なども合わせて実施した結果、年度末には平成31年4月1日付の多くの入会があり、平成30年度当初と同等の会員数を保つことができました。今後、さらに多くの方が入会し、高齢者の「生きがいの充実」と「生活の安定」を感じてもらい地域に貢献できるよう、センターのイメージアップを目指した周知活動を進めていきます。また、新たに入会された会員さん、既存の会員さん、みんなが末永く楽しいシルバー人生を送るために、事務局はもとより、会員一人一人が「共働・共助」の理念のもと、仲間を思う心を大切にし、また後輩への知識・技能を伝承していくなど会員さん全員の協力が必要不可欠となります。

運営経費については、国及び葛城市の補助金を基盤としていますが、各々の財政事情が厳しい現状においても、シルバー人材センター事業に対し最大限のご理解をいただき補助金の交付をしていただきました。また、お客様や会員さんのご理解を得て、受託事業事務費及び会員会費などの自主財源が確保できました。

個別の事業実績及び実施状況は次のとおりです。

## 1. 正会員数の状況

(平成31年3月31日時点)

項目		男性(人)	女性(人)	合計(人)
登録会員数		119	48	167
年齢階層別	64歳以下	1	1	2
	65～69歳	27	8	35
	70～74歳	36	18	54
	75歳以上	55	21	76
平均年齢		73.8歳	74.0歳	73.9歳
年度中の入会*		8	4	12
年度中の退会*		18	9	27
前年度末日会員数		129	53	182

\* 入会動機：生きがい・社会参加、時間的余裕、健康維持・増進、経済的理由

\* 退会理由：病気(本人)、加齢、家庭の事情(介護等)等

## 2. 受託事業及びシルバー派遣事業(労働者派遣事業)の実績

### (1) 受託事業

センターが発注者から直接受注し、請負・委任形態により就業する。

表：受託事業実績

項目	実績	前年比
受注件数	1,071件	91.0%
契約金額	88,275,376円	90.4%
配分金	72,260,077円	89.6%
材料費等	8,792,770円	97.4%
事務費	7,222,529円	89.6%
就業延人員	14,053人	80.1%
就業実人員 *1	170人	89.0%
就業率 *1	100.0%	100.0%

\*1 就業実人員及び就業率：就業実人員には平成30年度内に退会した会員を含む。

就業率計算(就業実人員÷登録会員数)により100%を超えるので便宜上100%と記す。

表：公共・民間の別

項目	公共事業	民間事業
契約金額	48,673,104円	39,602,272円
公民比率(契約金額比)	55.1%	44.9%
受注件数	46件	1,025件

## (2) シルバー派遣事業（労働者派遣事業）

請負・委任になじまない仕事は、派遣元事業主の奈良県シルバー人材センター協議会と派遣先との派遣契約に基づき、実施事業所（葛城市事務所）である当センターの会員が派遣労働会員として就業する。

表：シルバー派遣事業実績

項目	実績	前年比
受注件数（派遣先数）	9件	90.0%
派遣料金（契約金額）	12,907,666円	105.9%
賃金	10,038,065円	105.1%
派遣手数料等	2,869,601円	108.8%
労働者派遣事業等受託収益*	1,033,299円	110.3%
就業延人員	2,863人	104.6%

\* 労働者派遣事業等受託収益：派遣先から受け取る派遣料金のうち派遣手数料等を事務分担により奈良県シルバー人材センター協議会と折半したもの。

表：公共・民間の別

項目	公共事業	民間事業
派遣料金（契約金額）	2,041,326円	10,866,340円
公民比率（派遣料金比）	15.8%	84.2%
受注件数（派遣先数）	1件	8件

表：登録派遣会員数

項目	男性	女性	合計	前年比
登録派遣会員数	43人	29人	72人	101.4%

## 3. シルバー人材センター事業（高齢者就業機会確保事業）の実施状況

### (1) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

少子高齢化に伴う労働力減少のなか、現役世代の雇用環境向上のため、シルバー人材センターにおける育児分野、人手不足分野等での高齢者の活躍の場を創出するため、次の事業を実施した。

#### ① 会員の拡大

年度を通して、入会希望者への説明・相談、ホームページによるセンター活動の紹介、葛城市広報誌への会員募集記事掲載、葛城市ホームページへのバナー広告掲載及び会員の口コミによる入会活動（一人一会員入会活動）を実施した。また、会員募集チラシを会員協力のもと市内の全戸に配布し会員数の拡大に取り組んだ。新たな入会があった一方で、退会を抑制することができず、年度末では昨年度会員数を下回った。退会の理由として多かったのは、本人病気、加齢、介護・孫の面倒見など

家庭の事情で、全体の66.7%（27人中18人）を占めた。

今年度は新たな手法として、高齢者世帯が多く住む地区に、人が活動し始める春先ころ、女性をターゲットに色合いを明るくしたダイレクトメール（はがき）を郵送した。結果、平成31年4月1日付の多くの入会があり、平成30年度当初と同等の会員数を保つことができた。

その他、全国シルバー人材センター事業協会から提供された「会員増加に向けた取組事例集」を活用、また、奈良県シルバー人材センター協議会が奈良労働局から受託した「高齢者活躍人材育成事業」とも連携を持ち、会員拡大に努めた。

## ② 就業機会の拡大

会員の技能、年齢、健康状態、現場の安全性、事故リスク、事業の目的等を考慮し、会員と事務局職員により就業先の見直し・確保を行った。また、過去の受注履歴をもとに発注依頼文書を送付することで、既存顧客のつなぎ止めに努めた。

特にシルバー派遣事業（労働者派遣事業）においては、育児支援関連業務の就業を継続することで、女性の社会進出を後押しするとともに、女性を含めた現役世代が安心して働けるよう下支えをすることに貢献した。また、人手不足分野では農家や中小企業等との派遣契約を継続することで、地域に密着した派遣就業ができた。

## ③ 就業に関する相談

## ④ 教育訓練事業

### 派遣労働会員を対象とした教育訓練の実施

月日	内容	参加人数
平成30年 6月1日 ～ 平成31年 3月19日 の期間	入職時の訓練 「派遣のしくみ」、「シルバー派遣労働 会員ハンドブック」、「適正就業ガイ ドライン」を用いて、派遣就業につい て説明を行う 場所：當麻事務所 会議室	会員6人  ※新規派遣労働 会員として 登録した者を 対象
平成31年 2月12日 ～ 同年 2月15日 (3日間)	教育訓練 (1) 交通安全に関すること (2) その他、犯罪防止に関すること  ・奈良県高田警察署交通課より講師を招き、 講義及びDVD視聴により、交通安全を中心 にその他の犯罪防止に関し教育を実施 場所：當麻事務所 会議室	会員22人  ※1年以上の 雇用見込の ある者を対象

## (2) 普及啓発事業

シルバー人材センター事業の趣旨の周知を図り、事業の発展・拡大及び会員の入会促進を図るために普及啓発活動を実施した。

### ① ボランティア活動

「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」として、平成30年10月20日に近鉄新庄駅前ロータリーの草引き、大和高田バイパスのゴミ拾い、センター周辺道路の草刈りなど美化ボランティア活動を47人の会員、職員が実施し、シルバー人材センター事業の普及啓発を行った。

また、この活動は市広報誌「かつらぎ」平成30年12月号に掲載された。

### ② 普及啓発イベントへの参加

奈良県シルバー人材センター協議会主催の普及啓発イベント「第3回シルバークフェスタ in なら」に参加した。平成30年10月5日、県下のシルバー人材センターが、なら100年会館にてパネル展示や即売会などを通じて各々のセンター事業をアピールした。当日は、西川へレン氏の講演もあり多数の来場者が来られ、イベントは盛大に催された。

### ③ ホームページの運営

事業の紹介、新入会員の募集、シルバー人材センターの就業形態・仕組みなどを住民や企業に知ってもらうため、わかりやすさを基本にホームページを運営している。

また、事業計画・事業報告、予算・決算に関する計算書類等を掲載し情報の公開にも努めた。

## (3) 安全・適正就業対策推進事業

センターの会員たる高齢者の安全な就業は事業運営の基本であること、シルバー人材センターは公的な目的に基づいて設立された法人で、法令遵守及びシルバー事業の理念に基づく適正な運営が求められていることから、次の事業を実施した。

### ① 安全就業

「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」を平成29年度からの安全就業スローガンとし、事故が起こることなく就業ができるよう研修会への参加や情報提供などを通して安全意識の向上に努めた。

月日	内容	参加人数
平成30年 7月5日	奈良県シルバー人材センター協議会主催による県内安全就業対策研修会への出席 <講演> ～ 4S・5Sは安全就業になぜ必要か～ ～ 向老者の身体特性を理解して安全就業～ 講師：日本安全衛生コンサルタント会 奈良支部長 大原賢了氏	事務局1人

平成30年 12月	安全就業啓発チラシ送付 (配分金明細書に同封) ～インフルエンザに注意しましょう～ ～KYって言葉、ご存知ですか?～	安全・適正 就業委員会
平成31年 2月	「事故に学ぶ 交通安全のポイント」 全会員へパンフレット送付	安全・適正 就業委員会
平成31年 2月5日	奈良県シルバー人材センター協議会主催に よる県内安全就業担当者会議への出席 ・県内の安全・適正就業対策パトロールの 状況報告 ・全シ協 安全・適正就業指導員会議の報告 <講演> ～ KYTシートによる危険予知訓練の 進め方について ～ 講師：野口労働安全コンサルタント事務所 所長 野口 高氏	事務局1人
随時	安全就業対策パトロールの実施	事務局 15回

## ② 適正就業

契約書、就業実態等の自主点検実施。

新会員及び発注者への適正就業の重要性の周知。

月日	内容	参加人数
平成30年 8月2日	奈良県シルバー人材センター協議会主催に よる県内適正就業担当者研修への出席 ～ 適正就業の徹底について ～ 講師：公益社団法人全国シルバー人材センター 事業協会 業務部長 福島 孝氏	事務局1人

表：平成30年度における適正就業ガイドラインを用いた研修・周知状況

対象者	人数/件数
役職員（理事、監事、職員）	1
会員（新入会員23人、内、派遣会員入職時の訓練6人）	23
発注者（企業、個人家庭）	100

#### 4. 組織関係の一般事業の実施状況

##### (1) 総会、理事会等の会議の開催

###### ① 総会

平成30年度 定時総会〔平成30年5月30日(水)〕

- 議事 ・ 平成29年度事業報告書の件
- ・ 平成29年度収支決算報告書及び監事監査報告の件
- ・ 定款の一部改正の件
- ・ 理事及び監事の選任の件

###### ② 理事会

平成30年度 第1回通常理事会〔平成30年5月14日(月)〕

- 議事 ・ 平成29年度事業報告書の件
- ・ 平成29年度収支決算報告書及び監事監査報告の件
- ・ 定款の一部改正の件
- ・ 平成30年度定時総会の招集手続等の件

平成30年度 第2回通常理事会〔平成30年10月29日(月)〕

- 議事 ・ 平成30年度収支補正予算（第1号）の件
- ・ 入会希望者の承認の件
- ・ 配分金等の改正の件

報告 ・ 代表理事の職務執行状況報告

平成30年度 第3回通常理事会〔平成31年3月25日(月)〕

- 議事 ・ 平成30年度収支補正予算（第2号）の件
- ・ 平成31年度事業計画書の件
- ・ 平成31年度収支予算書の件
- ・ 入会希望者の承認の件

報告 ・ 代表理事の職務執行状況報告

###### ③ 理事会のみなし決議

- 議事 ・ 入会希望者の承認の件〔平成30年5月4日〕
- 議事 ・ 入会希望者の承認の件〔平成30年5月30日〕
- 議事 ・ 入会希望者の承認の件〔平成30年6月30日〕
- 議事 ・ 入会希望者の承認の件〔平成30年7月31日〕
- 議事 ・ 入会希望者の承認の件〔平成30年8月31日〕
- 議事 ・ 入会希望者の承認の件〔平成30年9月28日〕
- 議事 ・ 入会希望者の承認の件〔平成31年1月4日〕

###### ④ 定期監査

平成30年度 決算監査〔平成30年5月10日(木)〕

- ・ 平成29年度事業報告、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査実施
- ・ 監事監査報告書作成

## (2) 事務処理における研修会、説明会及び指導等

奈良県シルバー人材センター協議会等主催による研修会、説明会に出席し、指導を受け事業運営の適正な事務処理に努めた。

### ① 研修会、説明会及び会議

- ・平成30年6月13日  
奈良県シルバー人材センター協議会定時総会
- ・平成30年6月20日  
近畿シルバー人材センター連絡協議会定期総会及び管内役員研修会  
(シルバー人材センターのこれから)  
(高年齢者の雇用対策についての今後の動き)
- ・平成30年7月12日  
労働者派遣法改正法の遵守について
- ・平成30年9月25日  
近畿シルバー人材センター連絡協議会管内事務局職員研修会  
(シルバー人材センター関連予算平成31年度予算概算要求等について)  
(シルバー人材センター事業の現状と課題について)
- ・平成30年10月11日  
奈良県シルバー人材センター協議会管内事務局長会議  
(都道府県シルバー人材センター連合事務局長会議の内容伝達)  
(軽減税率制度について)
- ・平成30年12月17日  
全国シルバー人材センター事業協会福祉・家事援助サービス担当者会議  
(家事援助サービスの楽しさと事業理念)  
(事例発表：福祉・家事援助サービスの取り組み)
- ・平成30年12月19日  
奈良県シルバー人材センター協議会新総合事業及び福祉・家事援助サービス担当者会議  
(全シ協新総合事業担当者会議の報告)  
(全シ協福祉・家事援助サービス担当者会議の報告)
- ・平成31年1月18日  
奈良県シルバー人材センター協議会シルバー派遣実務担当者研修  
(派遣システムの操作方法について)  
(シルバー派遣事業の適正な実施について)



- ・平成31年1月29日  
奈良県シルバー人材センター協議会管内事務局長会議及び  
会計経理担当者研修  
(都道府県シルバー人材センター連合事務局長会議の内容伝達)  
(改正消費税法の概要について)

- ・平成31年1月31日  
奈良県総務部法務文書課による公益法人研修会  
(財務三基準の概要と違反状態からの解消方法等)  
(電子申請新システムについて)  
(公益法人関係法令及びガイドラインについて)  
(立入検査のよくある指摘事項とその対処法)  
(変更届の添付書類等について)

## ② 検査及び指導

- ・平成30年7月31日  
奈良県公益認定等審議会（奈良県総務部法務文書課）による  
運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査の実施
- ・平成30年11月15日  
奈良労働局（職業対策課）、奈良県（雇用政策課）及び奈良県シルバー人材センター協議会による定期指導の実施